

柱1 災害を自分事化する

【目指すべき姿】

地域の一人ひとりが、自然災害を正しく理解し、自分の命は自分で守る意識を高め、主体的に防災に取り組む

主体：市町村



取組みの背景・意義等

【背景】

- 市町村は、地域の実態に即した防災学習を直接提供できる、住民に最も近い基礎自治体です。地域の具体的な災害リスク（洪水、土砂災害、雪害等）を踏まえた対応を身につける学習を推進する必要があります。

【意義等】

- 市町村が地域コミュニティの主体的な活動を支援し、防災学習に関する様々な情報発信や、出前講座や地域の訓練等を通じて、住民が「災害を自分事化として、自分の身を守るためにできること」を自然と身につけられるよう支えていくことが大切です。

主な役割と取組み例

【主な役割】

○地域特性に応じた住民主体の防災学習の推進

- 住民の暮らしに最も近い基礎自治体として、地域の特性、過去の災害経験などを踏まえた防災知識を住民に分かりやすく伝える重要な役割があります。地域の特性に基づく災害リスクや災害伝承を共有し、出前講座や地域活動等の機会を通じて、住民が「自らの身を守る行動」を日常的に身に付けられるよう働きかけ、「自助」の力を高めます。

○地域に根差した学習の場や体制づくりによる防災学習環境の整備

- 地域住民が防災に関する研修や訓練に参加しやすいよう、地域のつながりやコミュニティの特性を生かしながら、参加のきっかけづくりや気運の醸成を図ります。住民が主体的に学び、行動につながられる環境を整えることで、地域全体の防災力を高める基盤をつくるのが、市町村の大きな役割となります。

【取組み例】

○地域特性に応じた住民主体の防災学習の推進

- 専門知識を持つ市町村の防災アドバイザー等による防災セミナーの開催
- 親子・現役世代が参加しやすい防災イベントの企画・実施
- 市町村が発信する防災情報やハザードマップの活用方法等について、住民の理解を深めるための周知活動
- SNSを活用した情報発信 など

○地域に根差した学習の場や体制づくりによる防災学習環境の整備

- 自主防災組織が主体的に行う訓練への各種支援 など

取組みの参考となる事例

- ◆ 多様な住民が参加しやすい地域防災研修会 P41
- ◆ 防災フェスティバル P43

柱1 災害を自分事化する

柱2 地域の防災活動の実効性をあげる

柱3 幅広い担い手を育成する

県 市町村 自主防災組織等 学校・教育委員会 事業所等 福祉団体・福祉関係者 地域住民

柱2 地域の防災活動の実効性をあげる

【目指すべき姿】

地域に属する一人ひとりの防災意識の向上を図り、地域内の連携を促進し、地域住民が互いに助け合い、自分たちの地域は自分で守る

主体：市町村



取組みの背景・意義等

【背景】

- ・社会環境の変化に伴い地域コミュニティの希薄化や少子高齢化等が進む中、市町村は地域住民に最も近い立場から、防災訓練や地域活動を通じて住民同士のつながりを深め、実際に機能する共助の体制を築く必要があります。

【意義等】

- ・地域の実情や多様なニーズに応じた柔軟な支援により、自主防災組織が地域に根差した活動を行えるよう、地域住民の意識啓発や、自主防災組織の活動基盤を整えることが大切です。

主な役割と取組み例

【主な役割】

○地域の防災活動体制の構築

- ・住民に密着した自治体として、地域の状況に応じた自主防災組織の結成や活動の活性化を支える重要な役割があります。地域の担い手の発掘や、日頃の訓練・地域防災活動の活性化に向けて、地域と共に住民同士のつながりを深め、共助がスムーズに機能する体制を育てていくことが大切です。
- ・また、地域コミュニティを構成する多様な団体が連携しやすい環境づくりを進めるとともに、自主防災組織同士の協調や交流を促し、地域内で経験や知見が共有されることにより、地域の防災力を高めることが大切です。
- ・併せて、公的な消防機関として消防団を設置し、災害時には市町村の指揮のもとで消火・救助・警戒などの実働的な対応を担わせます。

○近隣・他地域との連携推進

【取組み例】

○地域の実情を踏まえた自主防災組織の基盤構築と運営支援

- ・地区防災計画策定の促進
- ・自主防災組織等が実施する訓練・講座等への各種活動支援 など

○地域の日常の訓練・防災活動を支える伴走的な地域支援体制の構築

- ・地域の防災士等の知見・技術を活用した訓練や演習等の実施
- ・防災知識を持つ人材のネットワーク構築支援 など

○多様な地域団体の協働促進と、地域内での経験・知恵を共有するための交流環境整備

- ・域内事業所との被災時応援協定の締結
- ・地域団体同士の情報共有の場や意見交換会の開催 など

○庁内連携の強化と、ハザードマップ等の基礎知識習得を図る職員向け防災研修の実施

取組みの参考となる事例

- ◆ 複合的なハザードを踏まえた学校での緊急時引き渡し・留め置き訓練（地震災害） P49
- ◆ 複数部署の横連携による防災活動 P55

柱1 災害を自分事化する

柱2 地域の防災活動の実効性をあげる

柱3 幅広い担い手を育成する

県
市町村
自主防災組織等
学校・教育委員会
事業所等
福祉団体・福祉関係者
地域住民

柱3 幅広い担い手を育成する

【目指すべき姿】

地域防災の中核となり、積極的かつ主導的に活動できる専門的な知識と技能をもったリーダーや担い手を育成する

主体：市町村



取組みの背景・意義等

【背景】

- ・地域防災の担い手が特定の人に固定されてしまう状況が見られ、若手・女性・高齢者など多様な住民の参画が十分に進んでいない地域もあります。また、人口減少や高齢化に伴い、防災の担い手の世代交代が進みにくい状況も見受けられます。

【意義等】

- ・市町村は、地域に最も近い基礎自治体の視点から、地域の特性を踏まえ現場で力を発揮できる人材を掘り起こし、防災活動の中心となる防災リーダーや担い手を育てる立場にあり、自主防災組織や地域団体等と協力しながら、地域防災リーダーが防災活動を主導する体制を地域に根付かせていくことが大切です。

主な役割と取組み例

【主な役割】

○女性等を含めた地域防災を担う多様な防災人材の育成（地域密着、新たな担い手の発掘・育成、防災アドバイザー育成・活用、リーダー指導）

- ・市町村は、地域の実情を捉えて活動できる人材を発掘し、育て、地域で活躍させる役割があります。市町村が地域に密着した担い手を育成することで、地域の防災活動が活性化され、地域防災力の強化につながります。

【取組み例】

○新たな担い手の発掘・参加促進

- ・女性や若者など、多様な地域住民からの新たな担い手の発掘
- ・新たな担い手向け講習会・研修会等の開催 など

○地域防災リーダー・防災士の育成・活動支援

- ・防災士養成研修講座受講の支援
- ・市町村単位での地域防災リーダーの育成 など

○育成した人材の活躍の場・ネットワークづくり

- ・行政・地域と防災士を繋ぐ新たな役割の設定（コーディネーター等）
- ・防災士やリーダーが活動しやすい場や機会の創出
- ・防災士・リーダーネットワーク構築支援 など

取組みの参考となる事例

- ◆ 山形市自主防災リーダー・アドバイザー（YVL）登録制度 P57
- ◆ 女性防災リーダー育成講座・酒田防災コーディネーター事業 P59
- ◆ 自主防災組織リーダー研修会 P63
- ◆ 幼保から中学生まで『切れ目のない防災教育』 P65
- ◆ 中山町全世代防災教育普及事業 P67